

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節する。
- あぶらな科作物、レタス、及び展葉期から落花期のなしにはかからないように十分注意して散布する。(薬害)
- たばこ、けいとう及び幼植物のだいず・あずき・いんげんまめにはかからないように注意して散布する。(薬害)
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 希釈倍数 300 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は環境に影響を与えないように処理する。

いよう適切に処理する。

〈無人ヘリコプター散布としての注意〉

- 各散布機種の散布基準に従って実施する。
- 少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布機種に適合した散布装置を使用する。
- 散布中、散布液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行う。
- 散布液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 水源池、飲料用水等に飛散流入しないように十分注意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
 - 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。



安全使用上の注意



- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないように注意する。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 誤飲に注意する。
- 眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。（刺激性）
- 散布時は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをして、衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (<https://www.i-nouryoku.com/prod/search/> 農業ガイドの見方.pdf)」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4)－G」も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 水ベースの新製剤、いもち、穂枯れ、カメムシ類他の仕上防除剤です。
- いもち病、ごま葉枯病と、米の品質に影響を及ぼす穂枯れ性病害に有効な「ブラシン」と、カメムシ類に効果の高い「MR. ジョーカー」を混合した、全く新しいタイプの薬剤です。
- 稲の基幹防除剤としてもいもち病、ごま葉枯病、穂枯れ性病害とイネ害虫、特にカメムシ類との同時防除ができ、出穂後期の仕上げ防除剤として高品質米生産につながります。